

地球・人・社会

「人と共に創る」仲間づくり

「マツダの考え方」

自動車業界は今、100年に一度の変革期の中にあります。CASE(コネクティビティ技術／自動運転技術／シェアード・サービス／電動化技術といった新技術の総称)に代表される時代の要請に応じていくために、クルマの企画、開発、製造、販売、サービスなど多くの領域で変革が求められています。この変革期を乗り越え、マツダが企業として発展し続けるために大切にしなければならないものは「マツダの独自性」であり、その独自性をマツダと関わるすべての人々と共に創ることだと考えています。マツダは協業を強化し、パートナーの皆さまとの連携を強めるとともに、異業種を含む新しい仲間づくりを継続して進めていきます。

企業間連携:次世代車載通信機の技術仕様を共同開発

マツダは、パートナーの皆さまと共に夢の実現に挑戦することで、マツダとのつながりに誇り、愛着を感じていただける会社を目指します。その結果、「お客さまを含む仲間と最も強い絆で結ばれたブランド」となりたいと考えています。

2021年4月、スズキ株式会社、株式会社SUBARU、ダイハツ工業株式会社、トヨタ自動車株式会社およびマツダは、より安全で快適なコネクティッドサービスの早期提供に向けて、5社で次世代の車載通信機の技術仕様を共同で開発し、通信システムの共通化を推進することに合意しました。お客さまにより快適なコネクティッドサービスを提供するとともに、各社の設備や人員などリソースの最適化を図っていきます。

詳細については以下URL参照
<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2021/202104/210427a.pdf>

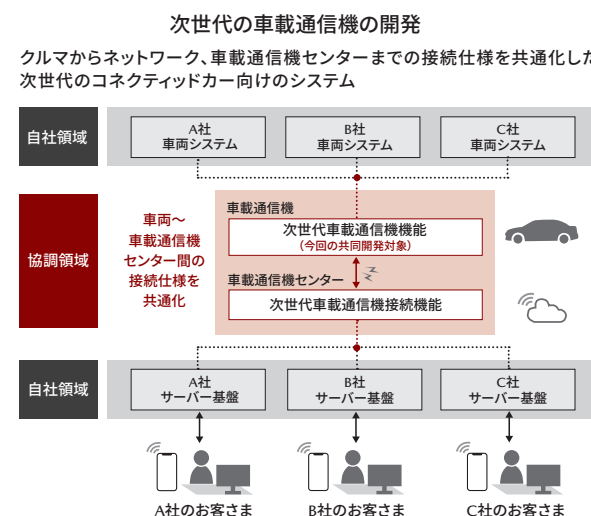
産学官連携:ひろしま“Your Green Fuel”プロジェクト

マツダは、環境・安全に関わる規制強化、異業種参入、モビリティビジネスの多様化など、企業を取り巻く事業環境が厳しさを増す中、ひろしま自動車産学官連携推進会議(ひろ自連)※などを通じて、独創的技術の開発や、イノベーションを生み出す人材育成などで地域に貢献しています。

ひろ自連で進めている自動車用次世代バイオ燃料の普及拡大に向けた「ひろしま“Your Green Fuel”プロジェクト」にも参画しています。2020年8月には、広島地域で支える地産地消モデル実現のため、バイオディーゼル燃料の原料製造・供給から利用に至るまでのバリューチェーンを構築し、同燃料の利用を開始しました。

※広島のものづくり産業発展への強い希望と情熱を出発点として、参加団体が自発的に集まり、あるべき姿を考え、産業発展につながるイノベーションのテコなることを目指す産学官連携推進団体。将来エネルギー研究や地場サプライヤーとの技術交流などさまざまな活動を実施

コネクティッドサービス運用のイメージ図



運用車両イメージ

詳細については以下URL参照
<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2020/202008/200804a.html>

SDGsへの貢献

目標およびターゲット

- 8 (8.2) 高いレベルの経済生産性を達成する
- 8 (8.10) 銀行取引・保険・金融サービスへのアクセスを促進・拡大する

- 17 (17.16) 持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する
- 17 (17.17) 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する